

# 『満洲国』には、

どういう文化があつたか？

570点余の文学中心の書籍を通して

その全貌に迫る書誌・解題の集大成。

『満洲国』研究に

新たな手掛りを与える書！

# 『満洲国』文化細目



殖民地文化研究会編

## ◆刊行のことば

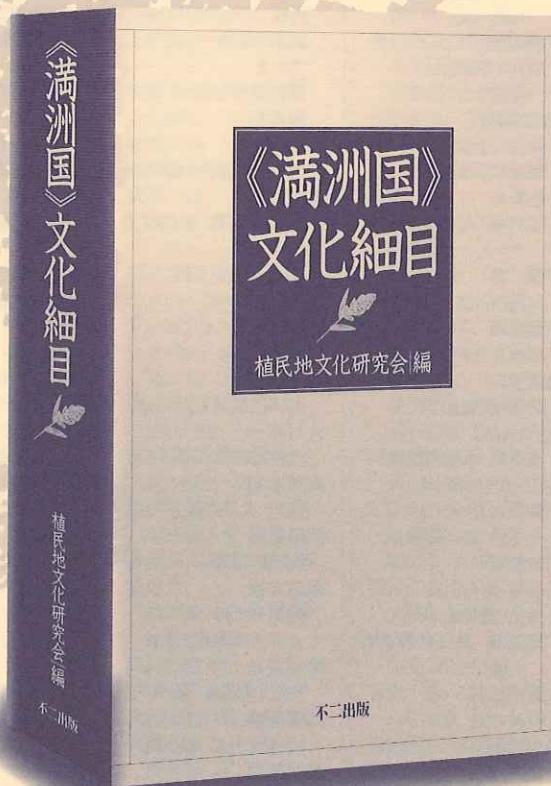
1932年3月に誕生し、1945年8月に崩壊した『満洲国』は日本帝国の傀儡国家であったが、一応は独立の国家だったため、同国で刊行された書籍や雑誌は組織的には日本には送られてこなかった。そのため従来の『満洲国』文化の研究は日本にある限られた文献で行われるほかはなかった。

本書は『満洲国』文化研究の基礎的作業として、1997年夏以来、8回、中国東北の公立及び大学図書館などを訪問、また韓国・日本国内の図書館などの所蔵を調査し手にすることのできた『満洲国』で出版された書籍460点、及び同国居住者(居住体験者も含む)によって書かれ、日本で出版された書籍105点についての個別の書誌(刊行年月日・発行者・頁数・定価・所蔵先・目次など)と解題の集大成である。

私たちは本書の刊行によって、『満洲国』においての文化現象についての研究が新たな次元に飛躍するものと信じ、期待している。

2005年春

殖民地文化研究会  
代表 西田 勝



A5判・上製・850ページ／定価＝本体6,800円+税

2005年6月刊行

ISBN4-8350-4157-7

●編集委員  
岡田英樹  
(立命館大学教授)  
西田 勝  
(文芸評論家)  
西原和海  
(文芸評論家)

●執筆者  
浅田 隆  
和泉あき  
猪野 陸  
大村益夫  
上條宏之  
神谷忠孝  
香内信子  
林 郁  
福井紳一  
李 青  
呂 元明  
ほか16名

不二出版

# ◆収録書籍一覧(著者・編者名と、その作品名)

相原 慧  
満洲子供のたび  
満洲の英雄と詩人  
青木 実  
花蓮  
部落の民  
北方の歌  
幽默  
文芸時論集  
赤城沙塔  
句集 窓  
赤瀬川安彦  
満洲鉱業談叢  
赤羽末吉  
影絵芝居の話  
秋葉 隆  
満洲民族誌  
秋原勝二  
鼈鼓  
浅川四郎  
興安嶺の王者  
開拓団生ひ立ちの記  
満洲の農民  
浅見 渥  
廟会(編)  
地平線を行く(編)  
満洲文化記  
浅利 勝  
浅利勝集  
東 勇  
詩集 三人集(編)  
安達義信  
詩集 一月の河  
阿南 隆  
詩集 青の祈禱歌  
阿部 襄  
動物観察記  
天野光太郎  
毒にくさる  
荒川石楠花  
満洲年刊歌集 第1輯  
(編)  
アルセニエフ, V  
ウスリー地方探検記  
(満鉄調査部第三調査室)  
デルスウザーラ(長谷川濱・長谷川四郎共訳)  
シベリアを探る(上脇進訳)  
安西冬衛  
詩集 軍艦茉莉  
安東文話会  
安東今昔物語(編)  
池測鈴江  
朱のおと  
石原巖徹(石敢当)  
雜談支那  
満洲に因む支那劇物語  
石森延男  
まんちゅりあ 春夏の巻  
まんちゅりあ 秋冬の巻  
童話集 どんづき  
第二まんちゅりあ  
お母さん(編)  
【満洲文庫】  
まんしゅうでんせつ(編)  
(第二「歴史」篇)

明るい港黄色い風(編)  
(第三「地理」篇)  
カメラの満洲 その一  
(編)(第四「写真」篇)  
カメラの満洲 その二  
(編)(第四「写真」篇)  
童話と童詩(編)  
(第六「文学」篇)  
満洲新童話集(編)  
(第六「文学」篇)  
【東亜・新満洲文庫】  
まんしゅの子ども  
(第一「風俗」篇)  
満蒙の風物  
(第一「風俗」篇)  
満洲史話  
(第二「歴史」篇)  
大平原めぐり(編)  
(第三「地理」篇)  
生きようとする姿 その一(第五「理科」篇)  
生きようとする姿 その二(第五「理科」篇)  
まんしゅの美しい話  
(第七「修身」篇)  
満洲の美談  
(第七「修身」篇)  
咲きだす少年群——もんくふおん  
ひろがる雲  
ぶたにはたん  
大久保衛  
北満の宝庫——砂金地  
帝の全貌  
大島裕史  
遺稿句集 冷たき奢り  
大滝重直  
國原  
伊地知進  
満洲守備風景  
一番乗り  
伊地知則彦  
蒙古の子供達  
東亜の日本人  
一色辰夫  
写真集 北満乃エミグラント  
伊藤 修  
異民族と共に  
伊藤武雄  
満洲文化の発展  
詩集 夜航船  
岩沢いはほ  
童話集 木蘭の從軍  
イワシケウイチ, A  
満洲に育つロシヤ人の子供(姉川盤根訳)  
岩本修蔵  
詩集 海の中に  
詩集 動物絵本  
童話集 おばけののみな  
い朝  
上野市三郎  
県城の空  
牛久昇治  
満洲に適する健康生活  
牛窪忠二郎  
満洲娘娘考  
歌集 童沙  
内田稻夫  
だいれん物語  
躍進満洲(編)  
梅野米城  
句集 赤土  
模本捨三  
明るい港黄色い風(編)  
阿片戦争  
大満洲建国史  
鼻  
アロー戦争  
カメラの満洲 その二  
(編)(第四「写真」篇)  
成吉思汗 第1巻  
成吉思汗 第2巻  
成吉思汗 第3巻  
衛藤利夫  
鞍組  
満洲夜話  
短繁  
遠藤隆次  
利学者の視野  
満蒙の風物  
(第一「風俗」篇)  
満洲地質学物語  
王秋虫  
小工車(中文)  
大岩峯吉  
大平原めぐり(編)  
(第三「地理」篇)  
生きようとする姿 その一(第五「理科」篇)  
生きようとする姿 その二(第五「理科」篇)  
まんしゅの美しい話  
(第七「修身」篇)  
満洲の伝説と民謡(編)  
金井章次  
満蒙行政瑣談  
金丸精哉  
北満の宝庫——砂金地  
帝の全貌  
大島裕史  
遺稿句集 冷たき奢り  
大滝重直  
國原  
伊地知進  
満洲守備風景  
一番乗り  
伊地知則彦  
蒙古の子供達  
東亜の日本人  
一色辰夫  
写真集 北満乃エミグラント  
伊藤 修  
異民族と共に  
伊藤武雄  
満洲文化の発展  
詩集 夜航船  
岩沢いはほ  
童話集 木蘭の從軍  
イワシケウイチ, A  
満洲に育つロシヤ人の子供(姉川盤根訳)  
岩本修蔵  
詩集 海の中に  
詩集 動物絵本  
童話集 おばけののみな  
い朝  
上野市三郎  
県城の空  
牛久昇治  
満洲に適する健康生活  
牛窪忠二郎  
満洲娘娘考  
歌集 童沙  
内田稻夫  
だいれん物語  
躍進満洲(編)  
梅野米城  
句集 赤土  
模本捨三  
満洲国論  
小尾十三  
雜巾先生  
甲斐巳八郎  
満洲俗人形(編)  
北京  
甲斐水掉(操子・操)  
鞍組  
満洲夜話  
歌集 寒繁集  
歌集 埋道以後  
歌集 晴虚集(編)  
海音寺潮五郎  
京洛の夢  
香川鉄藏  
大岩峯吉  
三百六十五日  
伏虎存稿  
大内隆雄(山口慎一)  
支那研究論稿  
原野(編・訳)  
蒲公英(編・訳)  
或る時代  
満洲文學二十年  
文芸談叢(中文)  
現代満洲女流作家短篇選集(共編・訳)  
金井章次  
満蒙行政瑣談  
金丸精哉  
北満の宝庫——砂金地  
帝の全貌  
大島裕史  
遺稿句集 冷たき奢り  
大滝重直  
國原  
伊地知進  
満洲守備風景  
一番乗り  
伊地知則彦  
蒙古の子供達  
東亜の日本人  
一色辰夫  
写真集 北満乃エミグラント  
伊藤 修  
異民族と共に  
伊藤武雄  
満洲文化の発展  
詩集 夜航船  
岩沢いはほ  
童話集 木蘭の從軍  
イワシケウイチ, A  
満洲に育つロシヤ人の子供(姉川盤根訳)  
岩本修蔵  
詩集 海の中に  
詩集 動物絵本  
童話集 おばけののみな  
い朝  
上野市三郎  
県城の空  
牛久昇治  
満洲に適する健康生活  
牛窪忠二郎  
満洲娘娘考  
歌集 童沙  
内田稻夫  
だいれん物語  
躍進満洲(編)  
梅野米城  
句集 赤土  
模本捨三  
伝説  
この土地の人に遼東史  
話 近代篇  
のどかな人達 続満洲  
の伝説  
喜田滻治郎・大塚正明  
國ひらく人々  
坂本峻雄  
ソヴェート視察記  
桜田常久  
朔風は呼ぶ  
佐々木有風  
句集 牡蛎の宿  
旅信  
城所英一  
満鉄社員健闘録(編)  
満洲の土に根ざす(編)  
佐藤慎一郎  
満洲と満洲人  
佐藤大四郎  
満洲に於ける農村共同  
組合運動の建設  
佐藤 光  
戯曲集 どよめく街  
季 瘋  
佐藤眞美  
満洲  
山 丁  
山風(中文)  
豊年(中文)  
緑色の谷(中文)  
緑なず谷  
金朝奎  
詩集 逃水  
満洲異聞  
満洲こよみ  
加藤六蔵  
満洲の伝説と民謡(編)  
久我荘多郎  
北辺の防人  
小泉菊枝  
G氏文学賞委員会  
滿洲文芸年鑑 第1輯(編)  
シェフエンコ  
(軍司義男訳)  
紫藤貞一郎  
父と子  
実験簿余白  
島崎晴海  
詩集 地貌  
詩集 十億一体  
島崎恭爾  
詩集 國際都市  
古 丁  
奮飛(中文)  
平沙  
平沙(中文)  
嘉村満雄  
大陸の微苦笑  
川島豊敏  
歌集 肇土  
歌集 曠原  
大庭武年  
護れ愛路旗 愛路文芸  
集(編)  
伊藤 修  
愛路美談集(編)  
大場白水郎  
大陸俳句の作法  
句集 早春  
川端康成  
大谷恭一  
面白い動植物の話(編)  
大庭武年  
写真集 北満乃エミグラント  
伊藤 修  
異民族と共に  
伊藤武雄  
満洲文化の発展  
詩集 夜航船  
岩沢いはほ  
童話集 木蘭の從軍  
イワシケウイチ, A  
満洲に育つロシヤ人の子供(姉川盤根訳)  
岩本修蔵  
詩集 海の中に  
詩集 動物絵本  
童話集 おばけののみな  
い朝  
上野市三郎  
県城の空  
牛久昇治  
満洲に適する健康生活  
牛窪忠二郎  
満洲娘娘考  
歌集 童沙  
内田稻夫  
だいれん物語  
躍進満洲(編)  
梅野米城  
句集 赤土  
模本捨三  
設勤労奉仕隊  
開拓三記  
義勇隊漫画部隊(編)  
鉄の兵隊  
坂田修一  
石 軍  
沃土(中文)  
沃土  
辺城集(中文)  
閑屋 牧  
満洲牧場記  
瀬沼三郎  
満洲の民謡(編)  
川柳大陸社  
句集 川柳共栄園(編)  
園山民平  
満洲民謡集(編)  
大陸科学社  
大陸冬の健康読本(編)  
大陸生活研究会  
大陸生活読本(編)  
大陸と婦人の生活編輯部  
満洲河魚読本(編)  
冬を愉しく(編)  
高木恭造  
詩集 まるめろ  
詩集 わが鎮魂歌  
詩集 鶴の商  
奉天城付近  
高島栄二  
北満史話  
高山昭二  
満洲年刊歌集 第4輯  
淹口武士  
詩集 園  
田口 稔  
満洲の地方色  
満洲隨想  
北満鉄路中央図書館  
の接收  
満洲地理点描  
満洲風土  
満洲風情  
田口 稔  
島田一男  
島田一男  
島田貞彦  
考古 隨筆 鶴冠壺  
爵 青  
歐陽家の人々  
歌集 獄に行く  
歌集 黄金の雀き門  
ジャパンツーリスト・ビュ  
一口—満洲支部  
小日山直登  
満洲国各民族創作選  
集 第1輯(編)  
大間知篤三  
大間知篤三  
満洲民族雑記  
句集 早春  
川端康成  
大谷恭一  
面白い動植物の話(編)  
大庭武年  
護れ愛路旗 愛路文芸  
集(編)  
伊藤 修  
愛路美談集(編)  
大場白水郎  
大陸俳句の作法  
句集 早春  
川端康成  
大谷恭一  
面白い動植物の話(編)  
大庭武年  
写真集 北満乃エミグラント  
伊藤 修  
異民族と共に  
伊藤武雄  
満洲文化の発展  
詩集 夜航船  
岩沢いはほ  
童話集 木蘭の從軍  
イワシケウイチ, A  
満洲に育つロシヤ人の子供(姉川盤根訳)  
岩本修蔵  
詩集 海の中に  
詩集 動物絵本  
童話集 おばけののみな  
い朝  
上野市三郎  
県城の空  
牛久昇治  
満洲に適する健康生活  
牛窪忠二郎  
満洲娘娘考  
歌集 童沙  
内田稻夫  
だいれん物語  
躍進満洲(編)  
梅野米城  
句集 赤土  
模本捨三  
谷 世  
新興満洲国の進路(編)  
鈴木善三郎  
秘境をさぐる 満洲国  
境風土記  
鈴木 甫  
満洲農村民謡集(編)  
須知善一  
苦力素描(編)  
成 弦  
青色詩鈔(中文)  
石 軍  
沃土  
辺城集(中文)  
閑屋 牧  
満洲牧場記  
瀬沼三郎  
満洲の民謡(編)  
川柳大陸社  
句集 川柳共栄園(編)  
園山民平  
満洲民謡集(編)  
大陸科学社  
大陸冬の健康読本(編)  
大陸生活研究会  
大陸生活読本(編)  
大陸と婦人の生活編輯部  
満洲河魚読本(編)  
冬を愉しく(編)  
高木恭造  
詩集 まるめろ  
詩集 わが鎮魂歌  
詩集 鶴の商  
奉天城付近  
高島栄二  
北満史話  
高山昭二  
満洲年刊歌集 第4輯  
淹口武士  
詩集 園  
田口 稔  
満洲の地方色  
満洲隨想  
北満鉄路中央図書館  
の接收  
満洲地理点描  
満洲風土  
満洲風情  
田口 稔  
島田一男  
島田一男  
島田貞彦  
考古 隨筆 鶴冠壺  
爵 青  
歐陽家の人々  
歌集 獄に行く  
歌集 黄金の雀き門  
ジャパンツーリスト・ビュ  
一口—満洲支部  
小日山直登  
満洲国各民族創作選  
集 第1輯(編)  
大間知篤三  
大間知篤三  
満洲民族雑記  
句集 早春  
川端康成  
大谷恭一  
面白い動植物の話(編)  
大庭武年  
護れ愛路旗 愛路文芸  
集(編)  
伊藤 修  
愛路美談集(編)  
大場白水郎  
大陸俳句の作法  
句集 早春  
川端康成  
大谷恭一  
面白い動植物の話(編)  
大庭武年  
写真集 北満乃エミグラント  
伊藤 修  
異民族と共に  
伊藤武雄  
満洲文化の発展  
詩集 夜航船  
岩沢いはほ  
童話集 木蘭の從軍  
イワシケウイチ, A  
満洲に育つロシヤ人の子供(姉川盤根訳)  
岩本修蔵  
詩集 海の中に  
詩集 動物絵本  
童話集 おばけののみな  
い朝  
上野市三郎  
県城の空  
牛久昇治  
満洲に適する健康生活  
牛窪忠二郎  
満洲娘娘考  
歌集 童沙  
内田稻夫  
だいれん物語  
躍進満洲(編)  
梅野米城  
句集 赤土  
模本捨三  
谷 世  
新興満洲国の進路(編)  
鈴木善三郎  
秘境をさぐる 満洲国  
境風土記  
鈴木 甫  
満洲農村民謡集(編)  
須知善一  
苦力素描(編)  
成 弦  
青色詩鈔(中文)  
石 軍  
沃土  
辺城集(中文)  
閑屋 牧  
満洲牧場記  
瀬沼三郎  
満洲の民謡(編)  
川柳大陸社  
句集 川柳共栄園(編)  
園山民平  
満洲民謡集(編)  
大陸科学社  
大陸冬の健康読本(編)  
大陸生活研究会  
大陸生活読本(編)  
大陸と婦人の生活編輯部  
満洲河魚読本(編)  
冬を愉しく(編)  
高木恭造  
詩集 まるめろ  
詩集 わが鎮魂歌  
詩集 鶴の商  
奉天城付近  
高島栄二  
北満史話  
高山昭二  
満洲年刊歌集 第4輯  
淹口武士  
詩集 園  
田口 稔  
満洲の地方色  
満洲隨想  
北満鉄路中央図書館  
の接收  
満洲地理点描  
満洲風土  
満洲風情  
田口 稔  
島田一男  
島田一男  
島田貞彦  
考古 隨筆 鶴冠壺  
爵 青  
歐陽家の人々  
歌集 獄に行く  
歌集 黄金の雀き門  
ジャパンツーリスト・ビュ  
一口—満洲支部  
小日山直登  
満洲国各民族創作選  
集 第1輯(編)  
大間知篤三  
大間知篤三  
満洲民族雑記  
句集 早春  
川端康成  
大谷恭一  
面白い動植物の話(編)  
大庭武年  
護れ愛路旗 愛路文芸  
集(編)  
伊藤 修  
愛路美談集(編)  
大場白水郎  
大陸俳句の作法  
句集 早春  
川端康成  
大谷恭一  
面白い動植物の話(編)  
大庭武年  
写真集 北満乃エミグラント  
伊藤 修  
異民族と共に  
伊藤武雄  
満洲文化の発展  
詩集 夜航船  
岩沢いはほ  
童話集 木蘭の從軍  
イワシケウイチ, A  
満洲に育つロシヤ人の子供(姉川盤根訳)  
岩本修蔵  
詩集 海の中に  
詩集 動物絵本  
童話集 おばけののみな  
い朝  
上野市三郎  
県城の空  
牛久昇治  
満洲に適する健康生活  
牛窪忠二郎  
満洲娘娘考  
歌集 童沙  
内田稻夫  
だいれん物語  
躍進満洲(編)  
梅野米城  
句集 赤土  
模本捨三  
谷 世  
新興満洲国の進路(編)  
鈴木善三郎  
秘境をさぐる 満洲国  
境風土記  
鈴木 甫  
満洲農村民謡集(編)  
須知善一  
苦力素描(編)  
成 弦  
青色詩鈔(中文)  
石 軍  
沃土  
辺城集(中文)  
閑屋 牧  
満洲牧場記  
瀬沼三郎  
満洲の民謡(編)  
川柳大陸社  
句集 川柳共栄園(編)  
園山民平  
満洲民謡集(編)  
大陸科学社  
大陸冬の健康読本(編)  
大陸生活研究会  
大陸生活読本(編)  
大陸と婦人の生活編輯部  
満洲河魚読本(編)  
冬を愉しく(編)  
高木恭造  
詩集 まるめろ  
詩集 わが鎮魂歌  
詩集 鶴の商  
奉天城付近  
高島栄二  
北満史話  
高山昭二  
満洲年刊歌集 第4輯  
淹口武士  
詩集 園  
田口 稔  
満洲の地方色  
満洲隨想  
北満鉄路中央図書館  
の接收  
満洲地理点描  
満洲風土  
満洲風情  
田口 稔  
島田一男  
島田一男  
島田貞彦  
考古 隨筆 鶴冠壺  
爵 青  
歐陽家の人々  
歌集 獄に行く  
歌集 黄金の雀き門  
ジャパンツーリスト・ビュ  
一口—満洲支部  
小日山直登  
満洲国各民族創作選  
集 第1輯(編)  
大間知篤三  
大間知篤三  
満洲民族雑記  
句集 早春  
川端康成  
大谷恭一  
面白い動植物の話(編)  
大庭武年  
護れ愛路旗 愛路文芸  
集(編)  
伊藤 修  
愛路美談集(編)  
大場白水郎  
大陸俳句の作法  
句集 早春  
川端康成  
大谷恭一  
面白い動植物の話(編)  
大庭武年  
写真集 北満乃エミグラント  
伊藤 修  
異民族と共に  
伊藤武雄  
満洲文化の発展  
詩集 夜航船  
岩沢いはほ  
童話集 木蘭の從軍  
イワシケウイチ, A  
満洲に育つロシヤ人の子供(姉川盤根訳)  
岩本修蔵  
詩集 海の中に  
詩集 動物絵本  
童話集 おばけののみな  
い朝  
上野市三郎  
県城の空  
牛久昇治  
満洲に適する健康生活  
牛窪忠二郎  
満洲娘娘考  
歌集 童沙  
内田稻夫  
だいれん物語  
躍進満洲(編)  
梅野米城  
句集 赤土  
模本捨三  
谷 世  
新興満洲国の進路(編)  
鈴木善三郎  
秘境をさぐる 満洲国  
境風土記  
鈴木 甫  
満洲農村民謡集(編)  
須知善一  
苦力素描(編)  
成 弦  
青色詩鈔(中文)  
石 軍  
沃土  
辺城集(中文)  
閑屋 牧  
満洲牧場記  
瀬沼三郎  
満洲の民謡(編)  
川柳大陸社  
句集 川柳共栄園(編)  
園山民平  
満洲民謡集(編)  
大陸科学社  
大陸冬の健康読本(編)  
大陸生活研究会  
大陸生活読本(編)  
大陸と婦人の生活編輯部  
満洲河魚読本(編)  
冬を愉しく(編)  
高木恭造  
詩集 まるめろ  
詩集 わが鎮魂歌  
詩集 鶴の商  
奉天城付近  
高島栄二  
北満史話  
高山昭二  
満洲年刊歌集 第4輯  
淹口武士  
詩集 園  
田口 稔  
満洲の地方色  
満洲隨想  
北満鉄路中央図書館  
の接收  
満洲地理点描  
満洲風土  
満洲風情  
田口 稔  
島田一男  
島田一男  
島田貞彦  
考古 隨筆 鶴冠壺  
爵 青  
歐陽家の人々  
歌集 獄に行く  
歌集 黄金の雀き門  
ジャパンツーリスト・ビュ  
一口—満洲支部  
小日山直登  
満洲国各民族創作選  
集 第1輯(編)  
大間知篤三  
大間知篤三  
満洲民族雑記  
句集 早春  
川端康成  
大谷恭一  
面白い動植物の話(編)  
大庭武年  
護れ愛路旗 愛路文芸  
集(編)  
伊藤 修  
愛路美談集(編)  
大場白水郎  
大陸俳句の作法  
句集 早春  
川端康成  
大谷恭一  
面白い動植物の話(編)  
大庭武年  
写真集 北満乃エミグラント  
伊藤 修  
異民族と共に  
伊藤武雄  
満洲文化の発展  
詩集 夜航船  
岩沢いはほ  
童話集 木蘭の從軍  
イワシケウイチ, A  
満洲に育つロシヤ人の子供(姉川盤根訳)  
岩本修蔵  
詩集 海の中に  
詩集 動物絵本  
童話集 おばけののみな  
い朝  
上野市三郎  
県城の空  
牛久昇治  
満洲に適する健康生活  
牛窪忠二郎  
満洲娘娘考  
歌集 童沙  
内田稻夫  
だいれん物語  
躍進満洲(編)  
梅野米城  
句集 赤土  
模本捨三  
谷 世  
新興満洲国の進路(編

藤山一雄

大東亜戦争と文化母胎 大東亜文化建設叢書第1輯

1943年6月5日 满洲帝国教育会(新京) B6判 序3頁 目次2 本文117頁  
1円

内容（目次） 第一章 潤ふモンスーン圏／第二章 新移  
場／第三章 日本の不動の態勢／第四章 文化母胎とし  
文化即生活様式／第六章 生活の立地計画／第七章 国土  
章 祭日を知らざる創造／第九章 ものへの愛／第一〇章  
的性格／第一一章 生活様式の創造／第一二章 日本的思  
三章 大東亜共栄圏指導の要諦／第一四章 民族精神と  
第一五章 結語

- 本書は、「大東亜戦争」は人口過剰のため「新しい領土」  
が米英の圧迫に耐えかねて起こしたアジア解放戦争である  
と定し、次に、そうだからこそ「満洲国」の成功的な建設  
として「大東亜共栄圏」の創造をめざす「大東亜戦争」の勝  
利。それに対して、どうすべきかと問い合わせ、天皇を中心とする  
「自然に順応する無理のない生活様式」と解釈し、その解釈  
一「満洲国」の政策、特に農業政策に対する批判を全面的  
に展開したもの。以下、個条書き的にその批判の要点を紹

- 1) 先住民族を指導する前に、先住民族、特に漢民族や  
寒帯に順応した生活様式（衣食住）や立地計画に学べ。
  - 2) 何よりも荒廃した土地の緑化、森林化が必要。次に  
含み込み、蛋白源を確保するとともに、その排泄物を  
用、また生産と消費の合理化のために協同組合を作  
る。この点はデンマークに学べ。
  - 3) 人間を「消耗品」と考えず、またモノを浪費しない  
する知恵の教育をはじめよ。この点もデンマークに学  
これら批判を展開するなかで、例えば、待望される持  
てヒットラーやムソリニのほかに孫文やガンジーの名前  
の生活様式を無視した「芸文指導要綱」などによる文化や  
で「消えてなくなる運命」にあると批判したり、「世界的  
教を一層立派なものとして世界に弘める任務を持つ」の  
というような激しい言葉も挿入されている。本書は当局に  
されなかつたのだろうか、調査中。

解題付き

関連図書

植民地文化研究会=編・発行【定期購読受付中!】

殖民地文化研究 創刊号・第2号・第3号

豊富な資料と犀利な分析で近代日本の歩みを地球的視野から、とくにアジア太平洋の視野から捉え直す年1回刊行の研究誌。

- ・各号ともA5判・並製  
創刊号=232頁・定価2,000円  
第2号=240頁・定価2,100円  
第3号=240頁・定価2,100円
  - ・'02年6月～'04年7月刊

- 創刊号=特集「満洲国」文化の性格①／「満洲国」文化と台湾①  
座談会・雑誌『満洲浪漫』をどう評価するか 他  
第2号=特集「満洲国」文化の性格②／「満洲国」文化と台湾②  
座談会・雑誌『満洲芸文通信』の位置づけ 他  
第3号=特集「満洲国」文化の性格③／座談会・二つの『芸文』／日本軍政下のインドネシア文学 他

〒113-0023  
東京都文京区向丘1-2-12  
電話03-3812-4433  
ファクシミリ03-3812-4464  
振替001600294084

●表示価格はすべて税別